

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

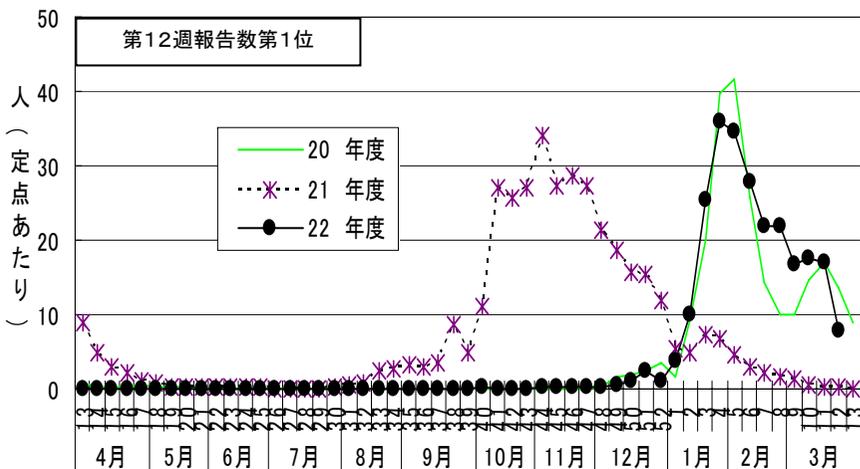
平成23年3月21日（月）～3月27日（日）〔第12週〕の感染症発生状況

第12週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)水痘でした。

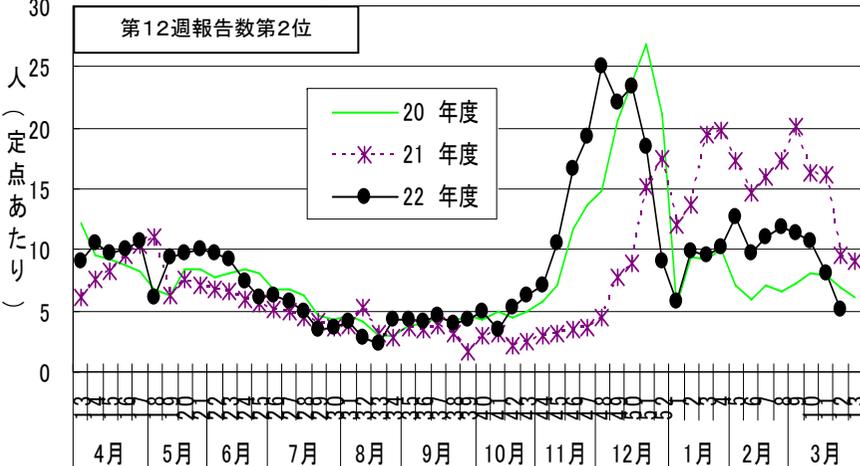
インフルエンザは定点あたり7.81人と前週（16.91）より患者報告数は半数以下に減少しており、インフルエンザの警報終息基準値（定点あたり10人）を下回ったため、平成23年2月1日に発令しておりました「流行発生警報」を解除いたします。ただし、依然としてインフルエンザ患者の報告は続いておりますので、引き続き感染予防の徹底をお願いいたします。

感染性胃腸炎は定点あたり5.18人と前週（8.09）より患者報告数は減少しております。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



健康管理に気をつけて 元気に新しい年度を過ごしましょう

インフルエンザを含めて、多くの感染症の医療機関からの報告数は減少しておりますが、春休みが終わり、新しい年度となり、新しい集団生活がこれから始まると、それだけ感染症にかかる機会が増加します。

感染症を防ぐには『知識のワクチン』を身につけることが大切です。正しい知識を持つことで、自分自身や身近な人を感染症から守りましょう。

①手洗い



②うがい



③マスク



④十分な睡眠



⑤バランスが取れた食事



感染症にかからないために
気をつけたいこと

上記の対策を適宜実施するとともに、疾病に対する免疫を獲得するため予防接種を受けることも効果的です。4月からの新しいスタートにあたり、必要な予防接種をすませ、感染症を未然に防ぎましょう。

予防接種の目的は、「子どもたちや人々を感染症から守る」ことにあります。法律で定められた予防接種がすすんでいるか、この機会に母子健康手帳で確認してみましょう。予防接種については、次の健康増進課のホームページをご覧ください。HPアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/35/35sippei/home/yosetu/index.htm>